

塩池町4町内まちなか避難訓練



【日比津学区】

■世帯数：5,004 世帯

■人 □：9,905 人

■面 積：1.083 k㎡

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・学区の地域密着型防災訓練として「まちなか避難訓練」を年に一度開催。地震等の災害発生時を想定して各町内の組ごとに塩池公園まで移動し、防災教育訓練を行っている。延べ参加者数は約 280 人。
- ・各町内で訓練内容を記載したチラシを回覧し、組長が事前に参加申込者を集計する。
- ・訓練当日は、火災や家屋倒壊等で通行不可能となる道路を想定し、消防団員による誘導指示を受け、迂回路を移動する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧と掲示板への掲示、組長をはじめとする地域での呼びかけ

【アピールポイント】

地域 4 町内に、急にお願いをし、梅雨時の悪天候が心配される中でありながら、多数の参加者があったこと。地域の横のつながりが多くの方の参加につながったと思う。

2 きっかけ、背景

学区全体での訓練を行ったとき、各町内の役員はいつも参加するが、一般住民の参加がなかったため、地域に密着した訓練を行うことで、意識を高めようと考えた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、消防団員、防災まちづくり委員会（各町内に1人）

計約50人

(2) 他団体との協力

学区自主防災会、学区防災安心まちづくり委員会

(3) 運営協力

防災安心まちづくり委員会、消防団と共同し、地域住民にお願いしている。

4 実施のスケジュール

H23年 5月 塩池町内での地域密着型訓練の計画を出す、諸事情により年度内の開催は中止

H24年 4月 再度、塩池4町内での訓練計画を作成

6月 急遽、7/8に訓練日を決定、6/12より訓練内容の回覧と参加者申込開始
参加者の確認

7月8日 まちなか避難訓練開催

5 成果と課題

(1) 成果・効果

従来の訓練には参加する機会がなかったが、今回は参加してみたいとの声が出るなど、地域住民の防災に対する意識が高まった。

また組長を中心として地域住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

参加者の確保と、理解を得ること。回覧を始めてから訓練実施までの期間が短かったため、参加者の確定がなかなかできず苦労した。

(3) 今後の課題・展望

活動の継続と、担い手の世代交代が課題だが、学区主催の訓練だけでなく、各町内自主防災会を中心に定期的に各自で行うことにより、若手の担い手が生まれると思う。

(4) メッセージ・アドバイス

今回は組長が地域住民の名前と顔を全て把握しておらず、当日の出欠席確認がスムーズに行えなかった。各町内全体の交流をいろんなことで深めて行きたいと思う。

